

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
1	防災備蓄事業(感染症対応防災備蓄品)	市民協働安全課	①新型コロナウイルス感染症対策として、避難所における感染予防のための防災備蓄品を購入する。 ②③ ・ワンタッチパーテーション 25,000円×300組×1.1=8,250,000円 ・エアマットレス 3,400円×300個×1.1=1,122,000円 ・非接触型体温計 5,000円×52個×1.1=286,000円 合計9,658,000円 避難所生活環境確保事業費県補助金:4,829千円充当 ④瑞穂市	7,773,040	3,887,040	R4.4.1	R5.3.3	避難所における感染症予防のための防災備蓄品を購入した。 ・ワンタッチパーテーション 19,800円×300組×1.1=6,534,000円 ・エアマットレス 3,200円×300個×1.1=1,056,000円 ・非接触型体温計 3,200円×52個×1.1=183,040円 合計7,773,040円	非常に効果的であった	防災備蓄品(感染症対策品)の充足率向上により、避難所利用者の感染拡大防止に寄与した。
2	瑞穂市長選挙における感染防止事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症対策として、有権者に安心して投票所に来所してもらうよう、手指消毒液の配置と使い捨て手袋の配布、事務従事者の手袋着用を行う。 ②③ ・使い捨て手袋(300枚/箱) 770円×170箱=130,900円 ・ニトリル手袋(100枚/箱) 1,100円×40箱=44,000円 ・手指消毒液(500ml/本) 1,210円×60本=72,600円 合計247,500円 ④瑞穂市	136,950	136,950	R4.10.1	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症対策として、有権者に安心して投票所に来所してもらうよう、手指消毒液と使い捨て手袋を購入した。 ・使い捨て手袋(100枚/箱) 152.9円×500箱=76,450円 ・ニトリル手袋(100枚/箱) 657.8円×40箱=26,312円 ・手指消毒液(500ml/本) 569.8円×60本=34,188円 合計136,950円	非常に効果的であった	手指消毒用アルコールや手袋等を購入し、選挙事務における感染防止に備えることができた。(無投票となったため選挙事務は実施されなかった。購入物品は令和6年4月執行予定の市議会議員選挙で使用予定。)
3	市役所本庁舎サテライトオフィス開設事業	財務情報課	①新型コロナウイルス感染症対策として、市役所本庁舎において執務スペースを拡充(サテライトオフィスを開設)し、執務空間における職員の密度の削減につなげる。 ②③ ・サテライトオフィス用電話配線工事 1,000千円 ・サテライトオフィス用通通信費 500千円 ・サテライトオフィス用パソコン 300千円×5台=1,500千円 ・オンライン会議用機器 1,517千円 合計4,517千円 一般財源:1,517千円充当 ④瑞穂市	2,949,100	2,949,100	R4.4.1	R5.3.31	市役所本庁舎において執務スペースを拡充した。サテライトオフィス用機器、オンライン会議機器の購入により、オンライン会議を開始した。主に庁舎間の会議で利用。 ・サテライトオフィス用電話配線工事 99,000円 ・サテライトオフィス用パソコン 5セット(10台) 1,171,500円 ・オンライン会議用機器 1,678,600円 合計2,949,100円	効果的であった	執務スペースの拡充により、職員の密度の削減につながった。また、オンライン会議の実施により職員の密集を減らすことができた。 感染リスクが軽減され、業務継続に寄与した。
4	只越さくら公園手洗い場設置工事	都市管理課	①新型コロナウイルス感染症対策として、手洗い場が未設置であった当公園に設置することで公園利用者の感染防止を図る。 ②手洗い場設置工事費用 ③工事請負費 1,451千円 一般財源:307千円充当 ④瑞穂市	1,450,900	1,144,000	R4.6.17	R4.12.20	新型コロナウイルス感染症対策として、手洗い場が未設置であった公園に手洗い場を設置した。 ・工事費(1基)1,450,900円	効果的であった	不特定多数の人が利用する公園内に手洗い場を設置することで、ウイルスを洗い流したうえで遊具等を使用してもらうことができ、感染予防対策として役立った。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始年月日	事業完了年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金充当額				事業効果	具体的な理由
5	教育施設情報通信ネットワーク環境施設整備事業	教育総務課	①コロナ禍において、緊急時の遠隔授業に使用することができる児童生徒用タブレット端末のカバーの未整備分を購入する。児童生徒がタブレット端末を家庭へ持ち帰る際に物品を保護したり、オンライン授業を行いやすくするために端末を固定する目的で使用する。 ②③ ・小学校6年生分タブレットカバー 3,000円×1.1×640台=2,112,000円 ・中学校3年生分タブレットカバー 3,000円×1.1×570台=1,881,000円 合計3,993,000円 ④瑞穂市	2,450,525	2,450,525	R4.6.29	R4.9.20	緊急時の遠隔授業に使用することができ、またタブレット端末を保護できるカバーを購入した。 ・小学6年生分タブレットカバー 1,320,550円(1,750円×686台×1.1) ・中学3年生分タブレットカバー 1,129,975円(1,750円×587台×1.1) 合計2,450,525円	効果的であった	オンライン授業時などにおいてタブレット端末を固定しての使用が可能となったことで負担軽減につながり、タブレット端末の保護にも有効であった。
6	給食センターにおける感染防止事業	給食センター	①給食センターにおける新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じる。 ②③ ・消毒スプレースタンド 15,000円×1.1×8台=132,000円 ・アルコールスタンド付属品 13,920円×1.1=15,312円 合計147,312円 ④瑞穂市	149,226	148,000	R4.4.1	R5.3.31	手指消毒用のオートディスペンサーを各トイレに設置した。 ・ショートスタンドセット 21,318円×7台=149,226円	非常に効果的であった	調理員の感染拡大による給食停止に至ることなく毎日給食を提供することができた。
7	小・中学校、幼稚園、教育支援センターにおける感染防止事業	学校教育課	①コロナ禍において、感染リスクを最小限に抑えながら学校等を運営し、十分な教育活動を継続するため、学校等に保健衛生用品等(感染症対策消耗品)を配備する。 ②③ 【小学校】小計3,173千円 ・マスク120個77,880円、ハンドコール144個1,584,000円、ハンドソープ144個554,400円、アルコール144個396,000円、手袋26個207,350円、ペーパータオル73個352,437円 【中学校】小計1,627千円 ・マスク60個38,940円、ハンドコール72個792,000円、ハンドソープ72個277,200円、アルコール72個198,000円、手袋25個199,375円、ペーパータオル25個120,698円 【幼稚園】小計526千円 ・マスク20個12,980円、ハンドコール24個264,000円、ハンドソープ24個92,400円、アルコール24個66,000円、手袋4個31,900円、ペーパータオル12個57,935円 【教育支援センター】小計120千円 ・マスク4個2,596円、ハンドコール5個55,000円、ハンドソープ5個19,250円、アルコール5個13,750円、手袋3個23,925円、ペーパータオル1個4,828円 合計5,446千円 ④瑞穂市	5,327,560	5,327,560	R4.4.1	R5.3.31	手指消毒用アルコール、ハンドソープ等、感染予防に必要な消耗品を購入した。 ・小学校 計3,171,227円 ・中学校 計1,623,265円 ・幼稚園 計525,616円 ・支援センター 計7,452円 合計5,327,560円	非常に効果的であった	手指消毒用アルコールや手袋等を購入し、物品の在庫が切れることなく衛生環境を保つことができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始年月日	事業完了年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金充当額				事業効果	具体的な理由
8	生涯学習施設における感染防止事業(総合センターほか2施設分)	生涯学習課	①総合センター、市民センター、県南公民館において新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じる。 ②③ 【総合センター】小計153千円 ・詰替用手指消毒アルコール 870円×120本×1.1=114,840円 ・消毒用ペーパータオル 288円×120個×1.1=38,016円 【市民センター】小計245千円 ・詰替用手指消毒アルコール 870円×192本×1.1=183,744円 ・消毒用ペーパータオル 288円×192個×1.1=60,825円 【県南公民館】小計153千円 ・詰替用手指消毒アルコール 870円×120本×1.1=114,840円 ・消毒用ペーパータオル 288円×120個×1.1=38,016円 合計551千円 ④瑞穂市	163,117	163,117	R4.4.1	R5.3.31	各施設の利用者が手指消毒をすることができるように出入口に手指消毒用アルコールを設置した。また、施設利用後に使用備品を消毒するために消毒用ペーパータオルを常備した。 【総合センター】小計43,993円 ・詰替用手指消毒アルコール 800ml×2個 ・ペーパータオル Mサイズ×6個、200枚入×25セット 【市民センター】小計76,348円 ・アルコールハンドスプレー 12個入×6セット ・スプレー容器 3個 ・ペーパータオル 66個 【県南公民館】小計42,776円 ・ペーパータオル 36個 ・消毒用ゴミ袋 5個 ・アルコールハンドスプレー 12個入×3セット ・ハンドソープ 4個 合計163,117円	非常に効果的であった	感染防止対策を講じたことにより、クラスターが発生しなかった。
9	生涯学習施設における感染防止事業(図書館分)	生涯学習課	①図書館本館、分館において新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じる。 ②③ 【本館】小計204千円 ・テーブル消毒用アルコール 11,400円×5セット×1.1=62,700円 ・手指消毒用アルコール 8,800円×6缶×1.1=58,080円 ・ビニール手袋 880円×70箱×1.1=67,760円 ・図書除菌機用消臭除菌剤 14,000円×1.1=15,400円 【分館】小計84千円 ・テーブル消毒用アルコール 11,400円×2セット×1.1=25,080円 ・手指消毒用アルコール 8,800円×3缶×1.1=29,040円 ・ビニール手袋 880円×30箱×1.1=29,040円 合計288千円 ④瑞穂市	134,496	134,496	R4.4.1	R5.3.31	図書館(本館・分館)利用者が消毒をすることができるように出入口に手指消毒用アルコールを設置した。また、利用後にはテーブル消毒用アルコールにて消毒を行った。図書館職員においては、ビニール手袋を用いてカウンター業務を行い感染予防に努めた。 【本館】小計33,000円 ・PVC手袋1000枚セット×6セット 【分館】小計101,496円 ・PVC手袋1000枚セット×3セット ・テーブル消毒用アルコール4L 4本×5セット ・手指消毒用アルコール15kg×3セット 合計134,496円	非常に効果的であった	感染防止対策を講じたことにより、クラスターが発生しなかった。
10	職員用メールシステム更新事業	市民協働安全課	①既存の職員用メールシステムを後継システムにバージョンアップすることで、登録者の安否状況確認やアンケート調査、画像ファイル等の送受が可能になり、災害発生時等の情報交換を迅速且つ簡易的に行うことができるほか、コロナ禍において、紙面でのやり取りを削減できるため人と人との接触を避けることができる。 ②③ ・初期導入費 440千円 ・月額利用料 16.5千円×6月=99千円 合計539千円 ④瑞穂市	525,800	525,800	R4.4.1	R5.3.31	既存の職員用メールシステムを後継システムにバージョンアップした。 ・初期導入費 426,800円 ・月額利用料 16,500円×6月(10月～3月)=99,000円 合計525,800円	非常に効果的であった	職員用メールシステムの機能が向上したことにより、職員や消防団員に対する事務連絡、調査報告、アンケート、データ送受等をオンライン化することが可能となり、従来は面会や紙面でやり取りしていた業務を削減し、人と人との接触を避けることができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
11	岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(9弾分)	商工農政観光課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県の営業時間短縮要請(R4.1.21～R4.3.6)に協力した飲食店等に対し県が支給した協力金のうち、市内事業者分の負担金 ②③ 第9弾分の負担金 11,653千円(141事業所分) ※事業者への負担金割合:国80%、県15%、市5% ④市内事業者	11,652,750	11,652,750	R4.4.1	R5.3.31	県が受付・支給を実施した岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金に関し、市内事業者支給分に対する負担金を支払った。 負担割合:国80%、県15%、市5% ・141事業者分 11,652,750円	非常に効果的であった	営業時間の制約により経済活動が抑制されているため、県からの協力金の支給により、経営支援になった。 また、当協力金の効果も有り、市内の飲食店においてこれまでクラスターは発生していない。
12	岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(10弾分)	商工農政観光課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県の営業時間短縮要請(R4.3.7～R4.3.21)に協力した飲食店等に対し県が支給した協力金のうち、市内事業者分の負担金 ②③ 第10弾分の負担金 3,639千円(140事業所分) ※事業者への負担金割合:国80%、県15%、市5% ④市内事業者	3,639,000	3,639,000	R4.4.1	R5.3.31	県が受付・支給を実施した岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金に関し、市内事業者支給分に対する負担金を支払った。 負担割合:国80%、県15%、市5% ・140事業者分 3,639,000円	非常に効果的であった	営業時間の制約により経済活動が抑制されているため、県からの協力金の支給により、経営支援になった。 また、当協力金の効果も有り、市内の飲食店においてこれまでクラスターは発生していない。
13	中小企業・小規模事業者活性化補助金	商工農政観光課	①コロナの影響を受けながらも、商工会等と連携しながら、自ら課題に取り組む事業者を支援する。 ②①の事業者に対し該当する事業費の一部を補助するもの ③ ・事業者への事業費補助 46,000千円(一般枠:1事業者あたり下限額100千円、上限額2,000千円 / 創業者枠:1事業者あたり下限額150千円、上限額3,000千円。平均800千円×57件程度想定) ・商工会への事務費補助 1,575千円(中小企業診断士謝礼、事務手数料、PC借上等) ・郵送料 6千円 合計47,581千円 ④市内事業者(中小企業及び個人事業主)	40,550,381	40,550,381	R4.5.1	R5.3.31	55事業者、72,925,570円の事業費に対し39,099,000円の補助金を交付した。 また、中小企業診断士の謝礼等の事務費として1,445,755円を支出した。 建設業、製造業、情報通信業、卸売・小売業、学術研究、専門・技術サービス業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育学習支援業、医療、福祉、サービス業(他に分類されないもの)など幅広い業種に交付した。 ・事業者への事務費補助 39,099,000円 ・商工会への事務費補助 1,445,755円 ・郵送料 5,626円 合計40,550,381円	効果的であった	申請者の事業計画作りのアドバイスを商工会、詳細な精査を中小企業診断士に行ってもらったことにより各事業計画の効果を高めることができた。
14	保護者向けメール配信アプリ導入事業	教育総務課	①学校、保育所等の教育関係施設における保護者(利用者)向けにアプリケーション版の一斉メール配信システムを導入する。導入によりPDF等のファイルを添付できるようになり、緊急時の連絡事項をわかりやすく迅速に配信できるようになるほか、コロナ禍において、紙面でのやり取りを削減できるため人と人との接触を避けることができる。 ②③ ・一斉メール配信アプリ導入費用 600千円×1.1=660千円 ・システム使用料 85千円×6月×1.1=561千円 合計1,221千円 ④瑞穂市	1,166,000	1,166,000	R4.7.8	R4.9.30	学校、保育所等の教育関係施設における保護者(利用者)向けにアプリケーション版の一斉メール配信システムを導入した。 ・一斉メール配信アプリ導入費用 550,000円×1.1=605,000円 ・システム使用料 85,000円×6月×1.1=561,000円 合計1,166,000円	非常に効果的であった	緊急時の連絡事項をわかりやすく迅速に配信できるようになって、紙面でのやり取りが削減され人と人との接触を避けることが可能となった。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
15	保育所使用済みオムツ保管ストッカー設置事業	教育総務課	①コロナ禍における保育所での3密回避を目的として、使用済みオムツの持ち帰りを無くす。そのために必要である使用済みオムツを業者の回収日までの期間、園で安全で衛生的に保管するための大型保管ストッカー(蓋・キャスター付き)を購入し各園に設置する。効果としては、オムツを使用している園児の中に感染している者がいた場合に感染拡大の原因となりうる使用済みオムツを安全で衛生的に処理できる。また、使用済みオムツの受け渡し時の保護者と保育士の接触が避けられ、感染拡大防止につながる。同時に、コロナ禍において、感染防止の徹底や子どもの健康観察により時間や神経を使っている保護者や保育士の不安解消と安心・安全の確保に寄与するとともに負担軽減にもつながる。 ②大型ゴミ保管ストッカーの購入 ③ ・400Lタイプ 40,800円×1.1×9個=403,920円 ・600Lタイプ 48,000円×1.1×1個=52,800円 合計456,720円 ④瑞穂市	456,720	456,720	R4.8.18	R4.9.30	使用済みおむつを、安全で衛生的に保管するための大型保管ストッカー(蓋・キャスター付き)を購入し各園に設置した。 ・400Lタイプ 40,800円×1.1×9個=403,920円 ・600Lタイプ 48,000円×1.1×1個=52,800円 合計456,720円	非常に効果的であった	感染拡大の原因となりうる使用済みオムツを安全で衛生的に処理することができ、保護者と保育士の接触も避けられ、感染拡大防止につながった。
16	お昼寝用コット導入事業	教育総務課	①コロナ禍における保育所での3密回避を目的として、お昼寝用コットを導入する。効果としては、これまで保護者が持参した布団で昼寝をしていたが、距離を取って布団を敷いても寝ている間に動いてしまい、適切な距離を保つのが難しかったが、コットを1人1台使用することで、園児同士の距離を確実に保つことができ、感染拡大防止につながる。また、コットは軽く取り扱いや収納も簡易であり、汚れてもすぐに洗え、衛生面も優れている。保育士の負担軽減と安心感にもつながり、保護者にとっても、布団を週末に持ち帰り、週明けに清潔な状態で持ち込むという作業がなくなるため、双方にとってメリットがある。 ②コット(大・中・小)及び収納台車の購入 ③ ・コット(小) 100台×5,050円×1.1=555,500円 ・収納台車(小用) 8台×13,650円×1.1=120,120円 ・コット(中) 727台×5,150円×1.1=4,118,455円 ・収納台車(中用) 56台×14,050円×1.1=865,480円 ・コット(大) 300台×6,650円×1.1=2,194,500円 ・収納台車(大用) 23台×14,450円×1.1=365,585円 ・送料 330,000円×1.1=363,000円 合計8,582,640円 ④瑞穂市	8,582,640	8,582,640	R4.9.30	R5.2.28	昼寝時に園児同士の距離を確実に保つことができ、感染拡大防止につながるコット、収納台車を購入した。 ・コット(小) 100台×5,050円×1.1=555,500円 ・収納台車(小用) 8台×13,650円×1.1=120,120円 ・コット(中) 727台×5,150円×1.1=4,118,455円 ・収納台車(中用) 56台×14,050円×1.1=865,480円 ・コット(大) 300台×6,650円×1.1=2,194,500円 ・収納台車(大用) 23台×14,450円×1.1=365,585円 ・送料 330,000円×1.1=363,000円 合計8,582,640円	効果的であった	園児同士の距離を確実に保つことができ、感染拡大防止につながった。取り扱いや収納も簡易であり、汚れてもすぐに洗え、衛生面も優れ清潔な状態で使用できた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
17	空気清浄機導入 事業	教育総務課	①コロナ禍における保育所での3密回避を目的として、空気清浄機を導入する。短時間でハイレベルな空間浄化能力を持ち、保育室や遊戯室等の広い空間の空気を効率的に循環させることが可能であるため、より感染拡大防止が可能となり、安心・安全な環境となる。園児や保育士を空気感染から守ることができれば、保育所を休所することも避けられる可能性が高まり、保育士、保護者の安心感も高まる。 ②空気清浄機の購入 ③ ・空気清浄機(Airdog X5s) 96,364円×44台×1.1=4,664,017円 ・空気清浄機(Airdog X8pro) 250,000円×37台×1.1=10,175,000円 合計14,839,017円 ④瑞穂市	14,839,017	14,839,017	R4.7.21	R4.10.31	短時間でハイレベルな空間浄化能力を持ち、保育室や遊戯室等の広い空間の空気を効率的に循環させることが空気清浄機を導入した。 ・空気清浄機(Airdog X5s) 96,364円×44台×1.1=4,664,017円 ・空気清浄機(Airdog X8pro) 250,000円×37台×1.1=10,175,000円 合計14,839,017円	非常に効果的であった	高性能空気清浄機の導入により短時間でハイレベルな空間浄化ができ、保育室や遊戯室等の広い空間の空気を効率的に循環させることが可能となり、園児や保育士を空気感染から守ることができ感染拡大防止につながった。
18	小・中学校、教育 支援センターにお ける感染防止事業	学校教育課	①コロナ禍において、感染リスクを最小限に抑えながら学校等を運営し、十分な教育活動を継続するため、学校等に感染症対策物品を配備する。 ②サーキュレーター、CO2モニターの購入 ③ ・サーキュレーター 6,000円×129台×1.1=851,400円 ・CO2モニター 12,980円×135台×1.1=1,927,530円 ・延長コード 1,000円×129本×1.1=141,900円 合計2,920,830円 ④瑞穂市	2,277,000	2,277,000	R4.4.1	R5.3.31	市内小中学校教室設置用にサーキュレーター及びCO2モニターを購入。 ・サーキュレーター 129台 709,500円 ・CO2モニター 135台 742,500円 感染症対策として感染症検査キットを購入。 ・45セット 825,000円 合計2,277,000円	非常に効果的であった	児童生徒が使用する市内小中学校の普通教室すべてにサーキュレーター及びCO2モニターを設置することができた。また、感染症検査キットの購入費用にも充てたことで、学校運営の中で検査が必要な場合や、部活動における大会参加のための検査等に早急に対応することができた。
19	パパママくらぶに おける感染防止事 業	子ども支援課	①コロナ禍において、パパママくらぶにて参加者が使用する備品を追加購入することにより、備品の消毒時間の短縮等による開催時間全体の短縮が可能となり、参加者の滞在時間の短縮による更なる新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る。 ②③ ・沐浴人形男女ペアセット 150,000円×2セット×1.1=330,000円 ・授乳指導人形 65,000円×10体×1.1=715,000円 ・妊婦体験ジャケット 125,000円×4×1.1=550,000円 合計1,595,000円 ④瑞穂市	1,916,860	1,595,000	R4.6.1	R5.3.31	感染予防対策のため、パパママくらぶの開催時間を短縮できるように沐浴人形、授乳指導人形、体験ジャケットを購入した。 ・沐浴人形 2セット 660,000円 ・授乳指導人形 9人 742,500円 ・妊婦体験ジャケット 4枚 514,360円 合計1,916,860円	非常に効果的であった	パパママくらぶにて参加者が使用する備品を追加購入したことにより、備品の消毒時間の短縮等による開催時間全体の短縮が可能となったので、感染予防につながった。
20	水道基本料金減 免事業	上水道課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯の生活を支援するため、水道料金のうち基本料金を減免する。 ②水道事業会計に繰り出し、令和4年度分の水道料金のうち基本料金の減免に関する費用に充当する。 ③基本料金 800円×1.1×12月×18件=190,080円 ④水道事業会計 (公共施設を含まない)	5,280	5,280	R4.4.1	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方の経済的負担を軽減するため、水道基本料金の減免を実施した。 ・(1,600円×1.1)×3件=5,280円	非常に効果的であった	水道基本料金の減免は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活資金で困っている方々の経済的負担の軽減につながった。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
21	下水道基本使用料減免事業	下水道課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯の生活を支援するため、下水道使用料のうち基本使用料を減免する。 ②農業集落排水事業特別会計、下水道事業会計への繰り出し、一般会計であるコミュニティプラントは公金振替する補助金として、令和4年度分の下水道使用料のうち基本使用料の減免に関する費用に充当する。 ③ ・農業集落排水事業特別会計への繰出金 22千円 1,600円×1.1×6月×2件=21,120円 ・下水道事業会計への繰出金 64千円 1,600円×1.1×6月×6件=63,360円 ・コミュニティ・プラント事業(一般会計) 106千円 1,600円×1.1×6月×10件=105,600円 合計192千円 ④ ・農業集落排水事業特別会計 ・下水道事業会計 ・コミュニティ・プラント使用者のうち減免の対象となる者 (公共施設を含まない)	0	0	R4.4.1	R5.3.31			
22	都市公園における健康遊具設置工事	都市管理課	①コロナ禍において、外出機会の減少に起因する体力の衰えが特に心配される高齢者向けに、密が避けられる屋外で使用できる健康遊具を市内に点在する都市公園に設置する。感染拡大への対応として高齢者等の生活支援に必要な施設を整備するもの。 ②ウォーキングコースに隣接している都市公園22か所における背伸ばしベンチ等の健康遊具設置工事費用 ③工事請負費 23,449千円 ④瑞穂市	23,422,300	22,894,000	R4.8.22	R5.3.22	コロナ禍において、外出機会の減少に起因する体力の衰えが特に心配される高齢者向けに、密が避けられる屋外で使用できる健康遊具を市内に点在する都市公園に設置した。 ・背伸ばしベンチ 18基 ・けんすい 7基 ・マルチトレーナー 1基 工事費合計23,422,300円	効果的であった	感染拡大への対応として、密が避けられる屋外の都市公園に高齢者等の生活支援に必要な施設を整備することで、健康増進につなげることができた。
23	保育所副食費緊急援助事業	幼児教育課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する給付金を支給する。 ②瑞穂市教育・保育認定子どもに係る給食の副食費の補助 ③3,000円×20月分=60,000円 ④瑞穂市教育・保育認定子どもの保護者	0	0	R4.4.1	R5.3.31			
24	就園・就学緊急援助事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、幼稚園に就園、又は小・中学校に就学することが経済的に困難な児童生徒の保護者に対し、緊急援助費を支給する。 ②就園就学緊急援助費 ③ ・幼稚園 3,000円×11月×2人=66,000円 ・小学校 5,000円×11月×12人=660,000円 ・中学校 6,000円×11月×6人=396,000円 合計1,122,000円 ④対象となる児童生徒の保護者	260,000	260,000	R4.4.1	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて世帯の経済状況が変化し、就学することが経済的に困難な児童生徒の保護者に対し、給食費相当分の緊急援助費の支給を行った。 ・小学生 3名 140,000円 ・中学生 2名 84,000円 ・幼稚園児 1名 36,000円 合計260,000円	効果的であった	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減により経済状況が変化し、就学することが困難となった世帯に対し、給食費の支払いをした月の給食費相当額の緊急援助費を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
25	サンコーパレットパークにおける健康遊具設置工事	生涯学習課	①コロナ禍において、外出機会の減少に起因する体力の衰えが特に心配される高齢者向けに、密が避けられる屋外で使用できる健康遊具を令和4年4月に供用開始したサンコーパレットパークに設置する。感染拡大への対応として高齢者等の生活支援に必要な施設を整備するもの。 ②背伸ばしベンチ設置工事費用 ③工事請負費 2,200千円 ④瑞穂市	1,768,800	1,768,800	R4.8.1	R5.3.31	コロナ禍において、外出機会の減少に起因する体力の衰えが特に心配される高齢者向けに、密が避けられる屋外で使用できる健康遊具をサンコーパレットパークに設置した。 ・工事費(背伸ばしベンチ2基)1,768,800円	効果的であった	感染拡大への対応として、密が避けられる屋外のサンコーパレットパークに高齢者等の生活支援に必要な施設を整備することで、健康増進につなげることができた。
26	JAぎふ穂積支店跡地活用事業	総合政策課	①穂積駅に近接する市有地においてコワーキングスペース、チャレンジショップ用施設を整備し、コロナ禍で新しい生活様式への転換が求められる中、テレワーク、リモート会議、オンライン授業等の需用に対応した新たな交流の場を創出するとともに、Withコロナ時代におけるチャレンジショップ進出の支援を行い、コロナ禍で閑散とした駅周辺のにぎわい創出を図る。 ②③ ・駅周辺にぎわい創出施設整備費 46,508千円 ・設計監理委託料 5,022千円 ・建築確認申請印紙代 47千円 ・火災保険料 3千円 ・水道加入金 121千円 ・光熱水費 51千円 合計51,752千円 基金繰入金:3,834千円充当 ④瑞穂市	52,301,306	47,918,000	R4.8.1	R5.3.31	コロナ禍で新しい生活様式への転換が求められる中、JR穂積駅に近接する市有地に店舗棟3棟、管理棟1棟を整備し、コワーキングスペース、チャレンジショップの募集を行った。 ・工事請負費 47,682,800円 ・設計監理業務委託料 4,375,494円 ・水道加入金 242,000円 ・上水道料金 1,012円 合計52,301,306円	効果的であった	NPO法人によって、コワーキングスペースとして貸出しできるような体制を整備したが、利用実績は少ない。また、チャレンジショップについては、事業者より利用したいとの問合せは数件あったが、広場の認知度が低いために集客に課題があり、現時点では、申込には至っていないが、穂積駅を拠点とするNPO法人による定期イベント(金曜市)や不定期イベント(ほづみ夜市、弁当市)の会場として活用され、駅周辺の賑わい創出が行われている。また徐々に認知が広がり、民間事業者が随時活用するような展開に発展しつつある。また地元出身の有名アーティストが店舗棟の外壁にイラストをペイントし、フォトスポットとしても人気が出ている。
27	新型コロナウイルスワクチン接種移動支援事業	健康推進課	①高齢者の新型コロナワクチン4回目接種において、接種会場までの移動手段がない人でも接種ができるよう支援する。 ②タクシー乗車助成、1回の乗車につき上限1,000円 ③250人×1,000円×2回分=500,000円 ④65歳以上の高齢者	567,830	500,000	R4.6.1	R5.3.31	65歳以上のワクチン接種対象者で、接種会場までの交通手段が無い方に対してタクシーチケットを交付した。 ・地域福祉高齢課分 3回目接種 298枚使用/1,036枚交付 4回目接種 321枚使用/1,054枚交付 オミクロン株接種270枚使用/828枚交付 ・福祉生活課分 3回目接種 35枚使用/90枚交付 4回目接種 31枚使用/88枚交付 オミクロン株接種 39枚使用/108枚交付	非常に効果的であった	高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種に係る移動支援としてタクシーチケットを交付することにより、交通手段が無い方に対する新型コロナウイルスワクチン接種率を高めることができた。
28	高齢者向けタクシー利用助成事業	地域福祉高齢課	①コロナ禍において、物価高騰により食料品を中心とする経済的負担が増加している中、年金生活者が多い高齢者の限られた生活費における外出にかかる経済的負担を支援する。1乗車につき乗車券を2枚まで利用できるようにする。 ②③ ・タクシー乗車券印刷製本 54千円 ・郵送料 126千円 ・タクシー利用助成 1,604千円 合計1,784千円 ④瑞穂市	2,454,790	1,784,000	R4.10.1	R5.3.31	コロナ禍の物価高騰による経済的負担が増加する中、高齢者の外出にかかる経済的負担を支援するためタクシーチケットを交付した。 ・10月 455,200円(845件) ・11月 505,530円(944件) ・12月 582,830円(1,083件) ・1月 449,120円(839件) ・2月 462,110円(859件) 合計2,454,790円	非常に効果的であった	コロナ禍の物価高騰による経済的負担が増加する中、高齢者の外出にかかる経済的負担を支援できた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
29	乳児用品等購入 支援事業	子ども支援課	①子の出生に伴い新たな家事負担と経済的負担により疲弊し、さらにコロナ禍における物価高騰の影響を受ける乳児世帯への負担軽減を図る。 ②③ ・地域振興券 5,000千円 ・封筒、用紙等 100千円 ・振興券印刷製本費 500千円 ・郵送料 520千円 ・委託料 700千円 合計6,820千円 ④新生児の保護者	4,427,903	4,427,903	R4.7.1	R5.3.31	物価高騰の影響を受ける新生児のいる子育て世帯の負担軽減を図るため地域振興券を交付した。 ・420人に10,000円ずつ支給 うち換金された額 4,056,000円 ・振興券印刷代 209,902円 ・振興券封入作業代 28,834円 ・振興券郵送料 98,406円 ・消耗品費 34,761円 合計4,427,903円	非常に効果的であった	新生児のいる子育て世帯への経済的支援ができた。また、市内で使用できる振興券により市内事業者の経済活性化にもつながった。
30	水道基本料金免除事業	上水道課	①コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民や事業者(官公庁を除く)の経済的負担軽減のため、水道料金のうち基本料金を免除する。 ②水道事業会計に繰り出し、8月から1月請求分の水道料金のうち基本料金の免除に要する費用を交付対象経費とする。 ③基本料金 1,760円×20,400件×3期=107,712,000円 免除対象外に係る郵送料 84円×240件×3期=60,840円 合計107,772,480千円 ④水道給水契約を締結している市民	109,403,360	107,773,000	R4.6.1	R5.1.31	コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民や事業者(官公庁を除く)の経済的負担を軽減するため、水道基本料金(3期分)の免除を実施した。 ・(1,600円×1.1)×62,161件 =109,403,360円	非常に効果的であった	水道基本料金の免除は、コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響を受けている市民や事業者(官公庁を除く)の経済的負担の軽減につながった。
31	給食材料代予算 増額補正	給食センター	①コロナ禍において、物価高騰に影響した分の給食賄材料費の予算を増額補正し、給食の質と量を維持する。 ②賄材料費増額分(教職員等分は除く) 19,335千円 ③賄材料費上昇率 前年同月(4月分)比6% R4当初予算322,244千円×6% =19,334,640円 ④給食を取る児童・生徒	17,222,563	17,222,563	R4.4.1	R5.3.31	令和4年4月分から令和5年2月分までの給食費(歳入)280,475,101円に対して、給食材料代が297,697,664円となり、この差額(物価高騰影響分)17,222,563円に充当した。	非常に効果的であった	物価高騰の影響分を保護者の負担に求めることなく、質と量を確保した給食を提供することができた。
32	原油価格高騰対策 支援金	商工農政観光課	①コロナ禍において、原油価格高騰の影響を受ける市内事業者を支援することを目的として原油価格高騰対策支援金を交付する。 ②③ ・原油価格高騰対策支援金 39,127千円(100-160万円…19件、50-100万円未満…9件、10-50万円未満…14件、10万円未満…6件) ・郵送料 12千円 ・チラシ印刷 80千円 ・消耗品 5千円 合計39,224千円 ④市内事業者(中小企業及び個人事業主)	39,136,311	39,136,311	R4.7.1	R4.12.31	他自治体に比べ産業構成割合の大きい運送業を中心に、農業、製造業など原油高の影響を大きく受けた48事業者に、39,126,760円の支援金を交付した。 ・支援金 48事業者 39,126,760円 ・郵送料 4,147円 ・パンフレット印刷代 4,440円 ・消耗品費 964円 合計39,136,311円	効果的であった	原油価格高騰の影響を受ける運送事業者等の資金を支援することで、経費損耗、収益悪化を減らし雇用継続につながった。
33	市内事業所活性化 補助金	総合政策課	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けている飲食店の景気回復の起爆剤としてキャッシュレス・消費者還元事業(約1か月)を実施するもの。 ②③瑞穂市商工会への補助金25,860千円(キャンペーン付与費用、プロモーション費用、運営費等) 基金繰入金:9,693千円充当 ④市内事業者(飲食店)	24,690,591	16,167,000	R4.10.12	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症により影響を受けている飲食店の景気回復の起爆剤としてキャッシュレス・消費者還元事業(約1か月)を実施した。 ・瑞穂市商工会への補助金24,690,591円	非常に効果的であった	瑞穂市商工会によるキャッシュレス・消費者還元事業への補助をポイント付与率30%で実施。期間内に付与額の4.4倍程度の消費活動が行われたことから、地域における消費喚起とコロナ禍で影響を受けた飲食店支援に寄与することができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

No	事業名	担当課	実施計画に記載の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実績額(円)		事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の実施状況・実績	事業実施による感染拡大防止等への効果	
				総事業費	交付金 充当額				事業効果	具体的な理由
34	みずほ子育て応援 給付金事業	子ども支援課	①コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴い、教育費などに影響を受け始めている子育て世帯への経済的負担を軽減する。 ②③ ・交付金 10,500人×12,000円=126,000千円 ・職員手当等 400千円 ・消耗品費 75千円 ・印刷製本費 35千円 ・郵送料 960千円 ・振込手数料 1,529千円 ・人材派遣委託料 1,760円×7.75h×40日×1.1=601千円 ・システム改修委託料 1,500千円 ・アウトソーシング 615千円 合計131,715千円 基金繰入金:18,765千円充当 ④市内の18歳以下の児童を養育する者	132,907,858	112,950,000	R4.5.1	R5.3.31	物価高騰の影響を受ける子育て世帯の負担軽減のため、子ども1人につき現金12,000円を支給した。 ・給付金 12,000円×10,805人=129,660,000円 (対象6,415世帯) ・郵送料 804,018円 ・口座振込手数料 1,295,800円 ・人材派遣業務委託料 464,156円 ・文書封入作業代 640,534円 ・封筒印刷代 21,780円 ・消耗品費 21,570円 合計132,907,858円	非常に効果的であった	子育て世帯への経済的支援ができた。
合計				514,709,974	474,431,953					